



組踊を多角的に考える

—初演から300年—

本講座は、1719 年に初演され、今年で 300 年の節目を迎える「組踊」について学ぶ事を目的としている。

組踊は琉球古典語、琉球古典音楽、琉球舞踊を基本とした所作の 3 つの要素で構成された琉球古典劇である。尚敬王冊封の際、躍奉行に任命された玉城朝薫によって創作され、その後の行われた冊封の宴席に必ず供される芸能であった。

明治以降は各地の芝居小屋や村芝居などで演ぜられ、戦後は国の重要無形文化財に指定される。現在は組踊の地謡・立方ともに人間国宝に指定され、若手の育成や「新作組踊」の創作など、今後の組踊という芸術の展開も期待できる。

本講座は組踊の記念すべき年に、研究・実演の分野から専門家を招き、組踊についてさまざまな立場・角度から最新の研究成果や芸談を語っていただき、組踊そのものや組踊研究に興味を持っていただく内容としたい。

日時

H31

4/10~7/24

18:30~20:00

毎週水曜日

会場

沖縄県立芸術大学
附属研究所 3F 小講堂
那覇市首里金城町 3-6
(金城キャンパス)

4/10

第1回 組踊とは～鑑賞のすすめ

鈴木 耕太 (附属研究所講師)

6/12

第8回 組踊の小道具について

金城 裕幸 (組踊道具・衣装制作技術者)

4/17

第2回 近世における組踊上演について

崎原 綾乃 (琉球大学附属図書館)

6/19

第9回 組踊と琉球古典音楽

新垣 俊道 (本学非常勤講師・「子の会」代表)

4/24

第3回 近代～戦前における組踊上演について

鈴木 耕太 (附属研究所講師)

6/26

第10回 新作組踊について

嘉数 道彦 (国立劇場おきなわ芸術監督)

5/8

第4回 組踊と舞台

茂木 仁史 (国立劇場おきなわ運営財団調査養成課長)

7/3

第11回 私と組踊

宮城 能鳳 (組踊立方人間国宝 本学名誉教授)

5/22

第5回 冊封と芸能～儀礼としての観点～

麻生 伸一 (本学全学教育センター准教授)

7/10

第12回 私と組踊

西江 喜春 (組踊音楽歌三線人間国宝 本学名誉教授)

5/29

第6回 故事集～組踊の漢訳について～

我部 大和 (附属研究所共同研究員)

7/17

第13回 沖縄各地の組踊

大城 學 (岐阜女子大学 特任教授)

6/5

第7回 組踊の台詞について～敬語表現～

西岡 敏 (沖縄国際大学教授)

7/24

第14回 組踊を研究すること

鈴木 耕太 (附属研究所講師)

お申込方法

①お名前 (ふりがな) ②〒ご住所 ③ご連絡先 (お電話番号、メール等) を明記の上、ハガキ・FAX・e-mail のいずれかにてお申し込み下さい。

定員 80 名 対象 一般市民 申込〆切 平成 31 年 4 月 5 日 (金)

沖縄県立芸術大学附属研究所 (事務室)

TEL 882-5040 FAX 835-5711

〒 903-0815 那覇市首里金城町 3-6

e-mail k-jimu@ken.okigei.ac.jp

